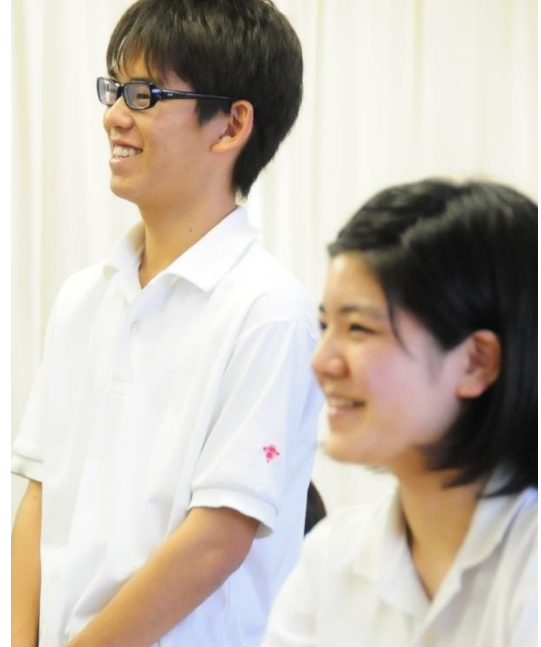





Frontier Spirit

甲府南高校情報紙 2015 Vol.2

6月号



南高の  文部科学省 指定校
スーパーサイエンスハイスクール



スーパーサイエンスハイスクール (SSH) は、理数教育の充実を図り、日本の未来を託す研究者や科学技術者の養成を目指す国家プロジェクトです。南高生は、理系・文系を問わず、様々な活動に参加し、進学面においても高い実績を上げています。

●SSHの授業

南高では、独自の科目を設定しています。1・2年生対象の「スーパーサイエンスⅠ・Ⅱ・探究」では、課題研究への取り組みを通じて自然科学に対する実践的能力を養います。さらに、校外研修や講演会を通じて科学への興味・関心を高める機会を設けています。

●校外・海外研修

山梨県内の研究施設、山梨大学、東京大学などの研究室を訪問し、専門の先生方の指導を受けます。岐阜県のスーパーカミオカンデや千葉県臨海実習など、魅力的な研修もあります。海外研修では、世界規模の研究機関や大学を訪問し、貴重な体験を通して科学への興味・関心を一層高めていきます。

●サイエンスワークショップ

自然科学系の4つの部活動では、県立科学館のサイエンススクールとして活動したり、課題研究に取り組んだりします。部員の中には、文系の生徒も多数所属しています。また、全国レベルの科学コンテストに参加し、上位入賞を果たしています。

●サイエンスフォーラム(講演会)

ノーベル化学賞を受賞された白川英樹博士や空想科学読本著者の柳田理科雄さんなど、各界で活躍されている方々研究者や技術者の講演会を年間7回ほど実施しています。

南高の今、トレンド情報

■全国総文祭で文化の輪を広げます。

物理宇宙部、物質化学部、音楽部、文芸部、写真部、茶道部が、7月28日～8月1日に滋賀県で開催する、びわこ総文祭に参加します。昨年の山梨県高校芸術文化祭で上位入賞を果たした6つの文化部が山梨県の代表となりました。物理宇宙部、物質化学部が参加する自然科学部門や、文芸部門、写真部門では今年も上位入賞を目指します。合唱部門、茶道部門はエキシビジョン参加で全国の参加生徒と交流を深めていきます。

放送部は、NHK杯全国高校放送コンテストのラジオドキュメント部門・朗読部門・アナウンス部門において、県代表に決定しました。全国大会での活躍に期待が高まります。

■インターハイ出場おめでとう！

6月の南高生は、関東大会・インターハイ予選・学園祭、そして学業を同時にこなしています。南高生は、自分たちのこの時期の生活を「楽苦しい(たのくるしい)」と表現します。どの行事も簡単に諦められないものであるならば、そのすべてを達成するが南高スタイルです。

6月20日現在で、ソフトテニス部と剣道部がインターハイ出場を決め、サッカー部がインターハイ予選ベスト4に駒を進めています。バドミントン部もベスト8の成績を残し、インターハイまであと一歩というところまで迫りました。どの部活も強豪校相手に、苦しい延長戦を戦い抜いてこの成績を勝ち取っていますが、すべての目標を達成する粘り強さを持つ南高生だからこそ、できることなのです。



題名
「いっしょにかへえろっ!」
写真部：中村早希



南高の **今**、トレンド情報



■高校総体期間のボランティアが爽やかです。

5月13日の高校総体開会式終了後、応援生徒全員で小瀬や緑が丘スポーツ公園において清掃ボランティア活動を行いました。ボランティア1000回運動を展開する南高では、県下の学校が集まる小瀬・緑が丘など、応援会場周辺を毎年きれいにしています。

■南高を花いっぱいになりました。

5月29日に、植花作業を行いました。ペチュニアや日々草などを、プランターや花壇に移植し、正面ロータリー周辺や校舎南側の花壇が色とりどりの花でいっぱいになりました。学校を訪れる方々を華やかに迎えています。



■3学年「大学出張講義」で、皆の将来を描きます。

6月5日に、大学出張講義を実施しました。大学の8名の先生方に、講義を担当していただき、それぞれの教室では興味深いお話をきくことができました。テーマは次の通りです。

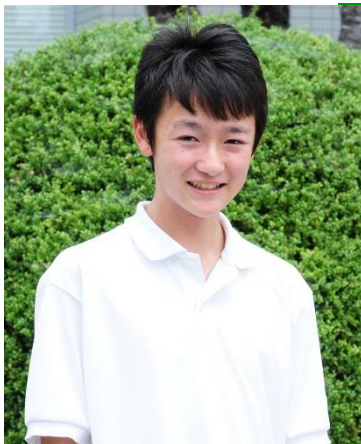
- 人文科学 SNSはメディアのありようをどう伝えたのか。(山梨県立大学)
- 社会科学 社会から求められる最強の法律学～一流の公務員、企業人になるには。(信州大学)
- 教育学 個の発達と家族関係 対人ストレス対人葛藤のプロセスと対処。(山梨大学)
- 理学 敵か味方か、身体の中の小さなエイリアン。(新潟大学)
- 工学 宇宙に学ぶ新エネルギー材料創生。(山梨大学)
- 薬学 人工酸素運搬物質(人工血液)の創製。(千葉大学)
- 看護学 病院における臨床検査の役割と病理診断について。(山梨大学)
- 医学 心臓の病気と心臓手術の体験。(山梨大学)

このような経験は、なかなかできません。南高ならではのプログラムです！



1年生からのメッセージ

南高の舞台で、夢へ向かってJUMP！



『目指せ 文武両道』

陸上部では、今年多くの先輩方が関東大会に出場しています。先輩方は1年生に優しく、仲良く接して和やかな雰囲気です。月曜日と木曜日はオフなので、学園祭の準備や、学習時間をしっかり確保しています。勉強も部活も真剣に取り組む先輩方を目標に、僕もそうなりたいと思っています。

神田 朋武 陸上部
(甲府南西中学出身)



『メリハリのある高校生活』

物理宇宙部では、全国総文祭へ向けての研究や天体観測を行っています。一見堅苦しいと思われがちですが、アットホームな雰囲気の中で、楽しく活動しています。私のクラスも同様に和やかですが、頑張るときのメリハリがついています。張り屋の仲間と囲まれて充実した毎日を送っています。

中村 英里 物理宇宙部
(塩山中学出身)



『全力で臨んでいます』

吹奏楽部は、野球応援や高校総体の開会式など、多くの場面で演奏しています。生徒が主体となり活動することで、多くを学び、充実した日々を過ごしています。ほぼ毎日の練習は忙しいのですが、何事も全力で文武両道に励む先輩が多く、私も頑張ろうと前向きになります。南高は、全力で臨めるすてきな学校です。

清水 莉乃 吹奏楽部
(玉穂中学出身)



『次のコートを目指して』

バドミントン部は、部長を中心に、自分たちが強くなるためにはどうしたらよいのかを自ら考えて練習メニューを作成しています。土日の練習が多く忙しい毎日ですが、学業の手を抜いていません。そんな南高バドミントン部で、次のコートを目指して戦っていくと努力していきます。

小野 進 バドミントン部
(竜王中学出身)



山梨県立甲府南高等学校

〒400-0854 甲府市中小河原町222

Tel:055-241-3191 Fax:055-241-3145 URL <http://www.kofuminami-h.ed.jp>



●Frontier Spirit—開拓者精神—

アメリカ・西部開拓時代のフロンティアにおける開拓者たちを象徴とする精神のあり方。旺盛な意欲と行動力、前人未到の分野に踏み込むことを恐れない勇氣、などのイメージが想起されます。

